

# 中学歴史プリント（過去問類似）

## 安土桃山時代

名前

得点

/9

**問1** 16世紀のドイツにおいて、神学者のルターがローマ教皇庁による「免罪符（贖宥状）」の販売を批判したことをきっかけに始まった運動を何といいますか。（2022年 愛知公立入試 類似）

1. 宗教改革                      2. ルネサンス                      3. 十字軍                      4. 大航海時代

**問2** 15世紀末から16世紀にかけて、ヨーロッパ諸国が航路を開拓して海外へ進出した「大航海時代」の動向と、日本への影響について述べた文として、正しいものはどれですか。（2022年 沖縄公立入試 類似）

1. バスコ・ダ・ガマがインド航路を開拓したことで、アジアへの航路が確保され、後にフランス・コ・ザビエルが来日してキリスト教を伝えた。  
2. フランシスコ・ザビエルが鹿児島に来航してキリスト教を伝えた後、その航路を利用してバスコ・ダ・ガマがインドへと到達した。  
3. 天正遣欧少年使節がローマへ派遣された際、彼らはバスコ・ダ・ガマを案内役として同行させ、ヨーロッパの文化を日本に持ち帰った。  
4. ポルトガル人が種子島に漂着して鉄砲を伝えたことがきっかけとなり、バスコ・ダ・ガマがキリスト教布教のためにインド航路を開発した。

**問3** 16世紀の南蛮貿易において、ヨーロッパから日本に伝えられ、その後の戦国時代の戦い方や城の造りに決定的な影響を与えた武器は何ですか。（2026年 岐阜公立入試 類似）

1. 鉄砲                      2. 日本刀                      3. 弓矢                      4. 大砲

**問4** 豊臣秀吉は1587年に「宣教師追放令」を出し、キリスト教の布教を制限し始めました。秀吉がこのような政策をとるに至った背景として、当時、長崎で実際に起きていた出来事はどれですか。（2025年 島根公立入試 類似）

1. キリシタン大名の大村純忠が、長崎の地をイエズス会に寄進し、教会による実質的な支配が行われていたこと。  
2. 長崎の住民が一斉にキリスト教へ改宗し、天皇の権威を否定する独立国家の樹立を宣言したこと。  
3. オランダ商館が長崎に設置され、キリスト教の布教を条件に独占的な貿易権を要求してきたこと。  
4. 豊臣秀吉の軍勢が九州平定に向かった際、長崎のキリスト教徒たちが一斉に武装蜂起したこと。

**問5** 15世紀後半から始まった新航路の開拓において、当時のヨーロッパ諸国が、危険を冒してまでアジアへの直接航路を求めた主な目的として適切なものはどれですか。（2022年 栃木県公立入試 類似）

1. 肉の保存や調味料として極めて高価であった香辛料を、直接安く手に入れるため  
2. 産業革命によって大量生産された綿織物を、アジアの広大な市場で販売するため  
3. イスラム教の聖地であるエルサレムを奪還するための軍事拠点を確保するため  
4. アメリカ大陸で栽培が始まったジャガイモやトウモロコシをアジアへ輸出するため

**問6** 宗教改革を始めたマルティン・ルターが、当時のカトリック教会の権威や伝統を批判し、個人の信仰において最も重視すべきだと主張したものは何ですか。（2020年 京都公立入試 類似）

1. 聖書の内容                      2. ローマ教皇の命令                      3. 免罪符（贖罪状）の購入                      4. 教会の壮麗な建築

**問7** 織田信長や豊臣秀吉が天下統一を目指した時代、大名や豪商の富を背景に栄えた、豪華で壮大な特色を持つ文化を何といいますか。（2021年 埼玉県公立入試 類似）

1. 桃山文化                      2. 元禄文化                      3. 化政文化                      4. 東山文化

**問8** 日本の室町時代末期に、鉄砲の伝来やキリスト教の伝来といった出来事が相次いだ背景には、当時のヨーロッパにおける社会の動きが深く関わっています。キリスト教がこの時期に日本へ伝えられた直接的な背景として、最も適切な説明はどれですか。（2024年 富山公立入試 類似）

1. ヨーロッパでの宗教改革に対抗し、カトリック教会が海外での布教を強化したため  
2. 産業革命の進展により、キリスト教の経典を大量印刷して海外へ配る必要があったため  
3. ピューリタン革命の影響で信仰の自由が失われ、多くのキリスト教徒が日本へ逃れたため  
4. ルネサンスによってキリスト教以外の思想が禁じられ、全ての宣教師がアジアへ派遣されたため

**問9** 2007年に世界文化遺産に登録された石見銀山遺跡が、他の大規模な鉱山遺跡と異なり、国際的に高く評価された特徴としてふさわしい説明はどれですか。（2019年 三重公立入試 類似）

1. 鉱山の運営に必要な森林資源の保護に配慮するなど、自然環境と共生した生産体制が維持されていた点。  
2. 明治以降の近代化を支えるため、当時の最新技術であった製鉄業と一体化した巨大工場群が残っている点。  
3. 採掘された銀がすべて遣隋使や遣唐使の派遣費用として、大陸への支払いに充てられていた点。  
4. 日本で初めて労働組合が結成され、賃金の上昇と労働時間の短縮が実現した発祥の地である点。

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 宗教改革	16世紀のドイツで、マルティン・ルターがローマ教皇庁による免罪符（罪の許しが得られるとして販売された証書）の販売を「95か条の論題」で批判したことが始まりです。この運動は、カトリック教会の権威を否定し、聖書を中心とした信仰を説くプロテスタント諸派を生み出すきっかけとなり、ヨーロッパの社会や政治に大きな影響を与えました。
問2	<b>答え 1</b> バスコ・ダ・ガマがインド航路を開拓したことで、アジアへの航路が確保され、後にフランシスコ・ザビエルが来日してキリスト教を伝えた。	1498年にポルトガルのバスコ・ダ・ガマが喜望峰を經由してインド航路を開拓したことにより、ヨーロッパ人のアジア進出が本格化しました。その流れの中で、1549年にイエズス会の宣教師フランシスコ・ザビエルが鹿児島に来航し、日本にキリスト教が伝わりました。出来事の前後関係として、航路の開拓が布教活動の前提となっている点が重要です。
問3	<b>答え 1</b> 鉄砲	1543年に種子島に伝来したこの武器は、南蛮貿易を通じて急速に普及しました。それまでの騎馬による一騎打ち中心の戦いから、足軽による集団戦法へと戦術を変化させ、さらに強力な攻撃に耐えるための強固な城郭建築が発達するきっかけとなりました。
問4	<b>答え 1</b> キリシタン大名の大村純忠が、長崎の地をイエズス会に寄進し、教会による実質的な支配が行われていたこと。	秀吉は九州平定の際、大村純忠が長崎をイエズス会に寄進していた事実を知り、外国勢力による日本領土の植民地化や、神社仏閣の破壊を伴うキリスト教の拡大に強い危機感を抱きました。これが宣教師追放令を出す直接的な背景の一つとなりました。ただし、この時点では南蛮貿易の利益は重視していたため、貿易自体は継続されました。
問5	<b>答え 1</b> 肉の保存や調味料として極めて高価であった香辛料を、直接安く手に入れるため	当時、コショウなどの香辛料は、アジアから陸路を經由して運ばれる間に多くの中間搾取を受け、ヨーロッパでは同じ重さの金と交換されるほど高価でした。そのため、海路を使って産地から直接買い付けることで、莫大な利益を得ようとする動きが強まりました。
問6	<b>答え 1</b> 聖書の内容	ルターは、人は善行や教会の儀式によってではなく「信仰によってのみ救われる」と説き、その信仰の唯一の根拠は神の言葉が記された聖書であるとする聖書中心主義を唱えました。この考えを広めるため、ルターは当時一般的ではなかったドイツ語による聖書の翻訳も行いました。
問7	<b>答え 1</b> 桃山文化	信長・秀吉の時代（安土桃山時代）に花開いた文化は、城郭建築や金箔を多用した障壁画に象徴されるように、権力者の勢威を反映した豪華で力強い性質を持っています。江戸時代中期の元禄文化や後期の化政文化、室町時代の東山文化とは時代背景が異なります。
問8	<b>答え 1</b> ヨーロッパでの宗教改革に対抗し、カトリック教会が海外での布教を強化したため	当時のヨーロッパでは、ルターやカルヴァンらによる宗教改革によってカトリック教会の権威が揺らいでいました。危機感を抱いたカトリック教会側は、勢力を回復させるために海外への伝道活動を活性化させました。この「対抗宗教改革」の動きの中で結成されたイエズス会などの宣教師が、大航海時代の航路を利用して日本を含むアジア各地へキリスト教を広めに来たという因果関係があります。
問9	<b>答え 1</b> 鉱山の運営に必要な森林資源の保護に配慮するなど、自然環境と共生した生産体制が維持されていた点。	石見銀山は、森林を完全に破壊することなく、燃料となる薪や炭を確保するために計画的な植林が行われるなど、環境に配慮した鉱山運営が行われていました。このように自然と産業が共生していた歴史的背景は、現代の持続可能な開発の観点からも重要視され、世界遺産登録の大きな要因となりました。近代化の象徴である製鉄業と関連が深いのは、同じく世界遺産の「明治日本の産業革命遺産」に含まれる官営八幡製鉄所などです。